



庭窪小学校だより (臨時号)

令和8年10月13日
守口市立庭窪小学校
校長 林 恵一

令和8年度 すくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)の結果について

4月23日(木)、5・6年生を対象に「すくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)」を実施いたしました。以前お伝えしました、「全国学力・学習状況調査」の結果と同様、そこから見えました本校の成果や課題、また今後の取り組みについて以下の通りお知らせいたします。

すくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)…大阪府が独自に実施しているテストです。

調査の目的	○子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。 (本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です)
実施内容	○5年生：国語、算数、理科、わくわく問題(教科横断型問題)※、アンケート ○6年生：理科、わくわく問題(教科横断型問題)※、アンケート ※わくわく問題：5・6年生とも同じ問題

国語 5年生の国語の平均正答率は61.5%(大阪府70.3%)でした。

◆「書くこと」の領域については58.3%(大阪府67.8%)との結果でした。文中の助詞の使い方を問う問題など一部は大阪府の平均を上回りましたが、主語述語に注意して書く問題や、相手や目的に応じて書く問題などに課題がありました。本校は日ごろから文章を書く取り組みを行っていますが、今回の結果を分析し、今後の授業改善に役立ててまいります。

◆言語関係については、慣用句の意味を問う問題は府の平均を上回りましたが、漢字やローマ字、主語と述語の関係や修飾語と被修飾語の関係を問う問題などに課題が見られました。基礎基本の大切な分野ですので、今後結果を分析し、改善に取り組んでまいります。その問題の一部を紹介します。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は一部省略しています)

漢字 次の文を漢字に直せるものはすべて漢字を使って書き直しましょう。

「きかいによるせいさんについてべんきょうするきかいになった。」

ローマ字 次の都道府県名を正しくローマ字で書きましょう。

高知 → []

主語述語 そうたさんとあおいさんが話していたところに、ゆいとさんが来て言いました。「なぎささんがスピーチコンテストの代表に選ばれたって、あさひさんが言っていたよ。」
→上の文章で、あさひさんから話を聞いたのはだれですか。①～④から1つ選びましょう

①そうたさん ②あおいさん ③ ゆいとさん ④なぎささん

正解 **漢字** 「機械による生産について勉強する機会になった。」

→全て(4つとも)書くことができた本校の正答率は、10.4%(府17.1%)でした。
(ただし、正答でなかった児童の内、60%近くは、1つ以上正解することはできていました。)

ローマ字 「Kōti, Koti, Kouti, Kōchi, Kochi 等」 →本校正答率 22.9%(大阪府27.9%)
(ただし、正答でなかった児童の内、60%は、「K」を大文字にしていない間違いでした。)

主語述語 ③ →本校正答率 43.8%(大阪府66.8%)

算 数 5年生の算数の平均正答率は43.4%(大阪府 51.9%)でした。

◆記述式の問題については、53.1%(大阪府 63.0%)との結果でした。国語と同様「自分の考えを明確に書く力」の向上を図り、筋道を立てて説明できるよう、授業改善に取り組んでまいります。一方、無回答率については府の平均と同程度だったことから、粘り強く取り組む姿勢がうかがわれました。

◆面積を求める問題など「図形」に関する問題は府の平均と同程度でした。一方、棒グラフから変化を読み取る「データの活用」の問題や、時刻を求めたり数量関係を読み取る「測定/変化の関係」の問題については課題がありました。特に、2つの数量関係を式で表す下記のような問題については正答率が約30%という結果となりました。今後の「比例」にもつながる大事な問題ですので、結果を分析し、これからの指導に活かしてまいります。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は省略しています)

- 右の表を見て、下の問いに答えましょう。

牛の数(頭)	1	2	3	...
1日に集められる牛乳の量(L)	30	60	90	...

・牛の数を□頭、1日で集められる牛乳の量を△Lとして、□と△の関係を式に表しましょう。

正解 $30 \times \square = \Delta$ ($\Delta = 30 \times \square$) →本校正答率 31.3%(大阪府 40.3%)

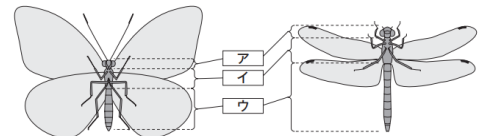
理 科 5・6年生の理科の平均正答率はそれぞれ52.3%・65.1%(府 60.1%・64.0%)でした。

◆5・6年生共通の傾向として、太陽に関する問題など「地球」に関する領域については成果が見られましたが、昆虫など「生命」に関する領域については課題がありました。一方、5・6年生とも無回答率が少なく、理科においても、粘り強く取り組む本校の児童の様子がうかがわれました。

◆5・6年生共通の問題では、全体的に6年生がよくできていますが、3年生で学習する昆虫の問題では5年生の方が上回りました。このことから、学年が進むにつれて既習の知識があいまいな状態になっている場合があることがうかがわれました。学習内容の定着を図るため、定期的に反復学習を取り入れるなど、今後も授業改善を図ってまいります。問題の一部を紹介します。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は省略、または変更しています)

- ①右の㊦～㊧に当てはまる言葉を書きましょう →



- ②下の文章の㊦～㊧に当てはまる言葉を①～③から

選びましょう。また、㊧のすがたの水を何というか書きましょう。

「やかんに㊦の水を入れて熱すると、ふっとうして㊧になります。㊧は温度が下がると㊦にもどります。」 ①気体 ②液体 ③個体

正解 ① ㊦頭 ㊧むね ㊨はら →本校正答率 5年16.7%・6年15.9%(府5年34.7%・6年28.2%)

② ㊦-② ㊧-① 「水じょう気」 →本校正答率 5年22.9%・6年29.5%(府5年34.8%・6年30.4%)

※ご家庭でも、自然の様々な事象で、不思議に思ったことや興味を持ったことについて、お子様と一緒に観察してみたり調べてみたりするなどしてみてもいいでしょうか。ご協力をお願いいたします。

わくわく問題(教科横断型問題) 5・6年生を合わせた平均正答率は61.0%(府 63.3%)でした。

◆観点別では、どの領域においても、ほぼ大阪府の平均と同程度の結果となりました。ただし、「興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える」領域(本校 75.0%、府 78.4%)については課題がみられました。

◆5年生と6年生を比較しますと、「伝える」分類の問題について、「自身で考えたことを伝える」(5年 57.6%→6年 79.5%)、「理由や根拠を明確にして伝える」(5年 53.1%→6年 77.3%)について、6年生に大きな伸びが見られました。「お互いに自分の考えを伝え合う」授業に取り組んできた成果ととらえ、今後も継続して取り組むことによって、5年生の来年度の成長にもつなげてまいります。

児童アンケートより (多岐にわたる質問から抜粋して分析を行いました) (5年生・6年生合計)

【生活・自己肯定感】 (当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	大阪府(%)
「自分には、よいところがある」と思う	88.9	88.7
難しいことがあっても、あきらめない	67.8	67.9
何事にも一生けんめい努力する	77.8	73.8
将来の夢や目標を持っている	85.6	85.6
あなたの学級は、日直や係の仕事を頑張っている	96.6	89.3
あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う	92.2	89.0

- ◆上4項目からは、以前配付した「全国学力・学習状況調査」と同じく、自己肯定感を高く持ち、積極的に頑張ろうとする子どもたちの様子がうかがわれました。今後も本校では、子どもたち一人ひとりに寄り添い、頑張りを認め、積極的に励ますなどすることによって、子どもたちの自己肯定感をより高めていければと思います。ご家庭でもぜひ子どもたちの頑張りに対して、励ましのお声掛けをお願いいたします。また、下2項目からは、クラスの中でお互いに協力し合って頑張っている子ども達の様子もうかがわれました。

【学習に対する意識】 (当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	大阪府(%)
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている	94.4	79.2
自分の考えを積極的に発言している	55.5	58.0
話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている	71.1	75.2
話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている	95.6	94.2
話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている	76.7	72.4

- ◆本校では、子ども達が主体となって取り組む授業や対話的な活動を積極的に取り入れた授業を推進することによって深い学びにつなげていくことを目指しています。多くの項目で大阪府の平均を上回りましたが、日ごろの取り組みの成果と捉え、今後も引き続き、授業改善を進めていきたいと考えております。

【ICTに対する意識】

設問	本校(%)	大阪府(%)
授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいあるか(週1回以上)	78.9	62.8
授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいあるか(週1回以上)	96.6	71.2
授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友達と意見を交流したりすることはどれくらいあるか(週1回以上)	92.2	54.9
授業で、コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表することはどれくらいあるか(月1回以上)	85.5	62.4

- ◆守口市では、一人一台端末(iPad)の活用を積極的に推進しており、本校においても、ほぼ毎日の授業でiPadを活用しています。ICTに対する意識については、大阪府平均を大きく上回っていますが、今後もより一層効果的な活用に取り組んでまいります。

【先生に対する意識】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	大阪府(%)
先生は、あなたのよいところを認めてくれている	92.2	92.6
先生は、あなたが間違っただけをしたとき叱ってくれる	96.7	92.9
あなたには、困ったときに相談できる先生がいる	77.8	82.0

- ◆この結果から、子どもたちが教員に対して、一定程度、信頼感を持って接してくれていることがうかがわれました。今後も、より一層信頼関係が深まるよう、児童一人ひとりに寄り添い、様子をよく見守っていくようにいたします。

【家庭での生活について】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	大阪府(%)
朝食を毎日食べている	94.4	91.4
平日、1日に、およそどれぐらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っているか(2時間以上)	70.0	56.1
家の人と、その日の出来事について話をしている(※)	83.4	82.7
家の人に褒められることがある(※)	92.2	93.1
家の中にホッとできる場所がある(※)	94.4	93.9
家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりすることがある(※)	83.4	87.3
平日、家や塾などで、学校の授業や宿題以外に1日どれぐらいの時間、勉強をしているか(30分以上)	56.7	67.0

- ◆全体の約70%の児童が、家で「ゲームやSNS等で」スマホ等を2時間以上使っているとの結果でした(「4時間以上」は全体の約30%の児童でした)。スマートフォンやゲーム機の使い方、使用時間等のルールについても、ぜひご家庭でお話してみてください。
- ◆(※)の項目の結果から、子ども達が安心して楽しくお家で過ごしている様子がうかがわれました。前ページにも書きましたが、子ども達の自己肯定感を高めるためにも、今後とも何卒ご協力をよろしくお願いいたします。
- ◆最下段の項目の結果から、半分以上の児童が宿題以外の学習に取り組んでいる様子がうかがわれました。本校では、子ども達に対して、宿題だけでなく、「自主的な学習」にも取り組むことを積極的に推進しています。ご家庭でも引き続き、取り組みのお声掛けをよろしくお願いいたします。

以上の結果に基づき、本校では今後、以下のように取り組んでまいります

- 国語では、文章や動画、音声における表現の工夫や、その効果を捉える問題に成果が見られた一方で、文章中の言葉を基に考えたことと自分の経験を結び付け、条件に沿って書き始めることに課題が見られました。このことから、今後は、心に残った言葉を選び、「なぜその言葉を選んだのか」を伝えたり、自分の考えや経験と結び付けたりする授業づくりを進めてまいります。
- 算数では、小数や分数など、これまでに学んだ知識や方法を使って解く問題に成果が見られた一方で、図や表から必要な情報を見つけ、その情報を結び付けて考えることに課題が見られました。今後は、答えを求めるだけでなく、「なぜその数や方法を選んだのか」を説明し、考えを深める授業づくりを進めてまいります。
- 問いをもとに、主体的に考え、まわりと考えを深め合う探求的な学習を推進します。(タブレット端末の活用を含む)
- 自学自習力の育成を図ります。(自主的に勉強しようとする意欲を育てます。)
- 学校全体で読書活動を推進します。

※これらの取り組みは、先日配布しました「全国学力・学習状況調査」と共通の取り組みです。